



兵どもの夢のあと



太平記

鎌倉末期から室町初期にかけての約50年にわたる南北朝動乱期を描いた軍記物語。1370年頃にまとめられたとされている。後醍醐天皇、楠木正成、足利尊氏、新田義貞など歴史教科書でおなじみの人物が登場するが、脚色も多く史実が記されているかどうかは不明。

1. 浅尾陣屋跡

MAP G-5

文久3年(1863)に蒔田氏(浅尾藩)によって築かれた陣屋。慶応2年(1866)4月に起こった浅尾騒動で陣屋の大部分が焼失。現在では、わずかに残る土塀に往時をしのぶのみです。

2. 秦廃寺

MAP F-5

中国地方最古の飛鳥期(7世紀)創建の寺院として有名で、塔の心礎石が残っています。寺域は現存の地割から一町(109m)四方で、法起寺式の伽藍配置と推定されています。また、出土した瓦の文様から寺の建立に際して渡来系氏族の秦氏が関与したと考えられています。

3. 小野小町の墓

MAP H-8

没するまでの晩年をこの地で過ごしたと伝えられている小野小町。墓のほか、屋敷跡や姿を写し見たという井戸、五輪塔など、小町まつわるものが数多く残されています。

4. 軽部神社

MAP G-7

延宝6年(1678)建立。その昔、境内に樹齢400年の「垂乳根の桜」と呼ばれる見事な枝垂桜があったことから、乳神様として庶民の信仰を集めました。安産や母乳の出を願うため、乳房をかたどった手作りの「おっぱい絵馬」が数多く奉納されています。奉納用の絵馬のキットは吉備路もてなしの館(☎94-1048)で販売しています。

5. 福山城跡

MAP H-7

楠木正成が戦死した「湊川の合戦」の前哨戦であり、『太平記』に記された「福山合戦」の舞台となった城として有名です。建武3年(1336年)、後醍醐天皇の「建武の新政」に反旗を翻した足利尊氏は、京で破れ一旦九州に逃れますが、勢力を盛り返し再び京を目指して陸路と海路から攻め上りました。このとき天皇方の新田義貞旗下の武將大井田氏経は福山城に立て籠もり、山陽道を進む足利直義(尊氏の弟)率いる数万の大軍を僅か千五百の兵で迎え撃ちました。激戦は三日三晩続き、大井田氏経が備前三石城に敗退して戦いは終わりました。標高302mの福山山頂には、平安時代より山岳密教寺院である福山寺があり、福山城はこの寺を利用して城としたらしく、にわか造りの門、土塁、井戸と寺院の礎石・古瓦が残されています。



6. 幸山城跡

MAP H-7

幸山城は、福山から北に突き出た尾根に総社平野と旧山陽道を見下ろすように築かれた戦国時代の山城です。城は「備中兵乱」(1575)で毛利軍に攻められて城主の石川氏は滅亡し、後に備中高松城主となる清水宗治が入城しました。

三名水

MAP J-5

総社には、その水の清らかさから「三名水」として知られたわき水があります。それが「松井の井戸」「白井の井戸」「菊水の井戸」です。「松井の井戸」「白井の井戸」についてはひっそりとその姿を残すのみですが、今でも水をくむことができる「菊水の井戸」には、はるばる遠方から訪れる人もいます。



正木山

Mt. Masaki-yama MAP D-5

正木山は総社平野と高梁川を西から見下ろす「絶景ポイント」が有名で、標高380mの山頂には式内社として著名な麻佐岐神社が鎮座しています。正木山一帯はハイキングコースも整備されており、「大野の桜」を始めとする豊かな自然と絶景を楽しむことができます。



鬼城山

Mt. Kinjojo-zan MAP I-3



福山

Mt. Fuku-yama MAP H-7



見渡せばそこは...



高滝山

Mt. Takataki-yama MAP A-4

高滝山は総社市下倉と矢掛町の境界に位置する標高506mの風光明媚な山で、岡山県百名山にも選ばれています。この山は古来より山岳信仰の場でもあり、人々の信仰の対象となった多くの奇岩石や石仏が残っています。現在は6ルートの登山道が整備されており、四季を通じて豊かな自然環境を求めて多くのハイキング客が訪れます。



一丁塚古墳群

Itchōguro burial mound group MAP E-5

一丁塚古墳群は、4~7世紀の33基の古墳が高梁川を見おろす尾根上に連なって築かれています。中でも4世紀初めに築かれたとみられる一丁塚1号墳は全長71mの前方後方墳で、足守川以西で最初に築かれた大規模古墳の可能性がありま

